

産科に通院中の患者さんへ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。このような研究は、厚生労働省の「臨床研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 品胎妊娠中の HELLP 症候群発症についての後方視的研究

[研究機関] 北海道大学病院 産科

[研究責任者] 西田 竜太郎 (産科・周産母子センター・助教)

[研究の目的]

多胎妊娠（ふたご・みつご）では単胎妊娠に比べて妊娠高血圧症候群（血圧が上昇する状態）の発症頻度が高く、それに伴った HELLP 症候群（血小板という血液を固めるのりのような成分が減少して、肝臓や腎臓に大きな負担をかけてしまい、妊婦さんの命にかかる病気です）の発症頻度も高くなります。特に品胎妊娠（みつご）時には、双胎妊娠（ふたご）よりも妊娠における負荷が高いことから、より早期に発症したり、重症化する可能性が高いと思われます。この研究では、品胎妊娠の分娩前後の血液・尿検査結果を調べて、HELLP 症候群の発症頻度と、血液・尿中のマーカーとなる物質の診断的意義を明らかにすることを目的としています。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

平成 13 年 1 月 1 日から平成 25 年 3 月 31 日の間に当院にて分娩した方のうち、品胎妊娠の管理を受けた妊娠女性

●利用するカルテ情報

対象について、以下の項目の調査をおこないます。

- ①年齢 ②非妊娠時 body mass index ③経産回数 ④分娩時の妊娠週数 ⑤胎児数 ⑥出生体重 ⑦妊娠高血圧症候群の有無 ⑧有害事象の有無 ⑨血液検査時の妊娠週数 ⑩D ダイマー値 ⑪アンチトロンビン活性 ⑫AST/ALT 値 ⑬LDH 値 ⑭血小板数 ⑮フィブリノゲン値 ⑯尿酸値 ⑰BUN 値 ⑱血中クレアチニン値 ⑲尿蛋白・尿クレアチニン値

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

[問い合わせ先]

北海道札幌市北 14 条西 5 丁目

北海道大学病院産科 担当医師 西田 竜太郎

電話 011-706-5678 FAX 011-706-7711